

令和6年度 海外インターンシップ実施報告

福井工業大学では、グローバル化・国際化に対応した教育、また海外で活躍できる人材育成の一環として海外インターンシップを実施しております。令和6年度の実施について下記のとおりご報告いたします。

- 【実施国】 タイ王国、ベトナム社会主義共和国
- 【研修期間】 令和6年8月12日（月）～9月1日（日）
- 【対象】 全学部全学科3年生
- 【参加人数】 29名
- 【協力企業様】 タイ：(株)小松製作所、(株)三和商会、(株)ソディック、
ダイキン工業（株）、東洋エアゾール工業（株）、
ニデックテクノモータ（株）、(株)日本エー・エム・シー、
福井鋳螺（株）、フクビ化学工業（株）、(株)UACJ、
シーナカリンウィロート大学附属プラサートンミット高等学校
ベトナム：フクビ化学工業（株）、前田工織（株）、(株)松屋 R&D

【事前研修】

事前講義（全9回実施）

- ① 海外インターンシップ参加について
- ② 自己分析・参加目的・目標設定について
- ③ 履歴書について
- ④ 社会人基礎力について
- ⑤ ビジネスマナーについて
- ⑥ タイ・ベトナムについて
- ⑦ 海外生活における安全対策について（外務省職員より）
- ⑧ 学園理事長激励、研修発表会について
- ⑨ 学長激励・渡航前の最終確認

【現地研修】

- ・ 企業別研修
会社説明、工場見学、安全教育、設計・製造工程研修、実務工事、異文化教育 等
- ・ 研修成果報告会
企業別発表および質疑応答

【事後研修】

- ・研修の振り返り
- ・学内研修成果報告会
- 企業別発表および質疑応答（大学教員による最終評価）

【参加者の声】

- ・2週間の体験を通して感じたことはすごくエネルギッシュな従業員の方が多いということです。タイ人の従業員の方は様々な事象に対し積極的にその原因や改善策を思考しようという姿勢を見せ、さらには勤務時間外にも自分にはない知識を学んで仕事に活かしている従業員の方もいました。工場では全体的に若い方が多かったというのもあり、積極的に学ぶ姿勢には強く影響を受けました。
- ・とても充実した2週間だったと感じています。初めての海外での職場体験は、想像以上に面白く、学ぶことが多かったです。日々の業務の中で、仕事の知識やスキルだけではなく、精神的な強さも重要だと感じました。特に、異なる言語や文化の中で職場見学をする際は言語の面では苦労しましたが、それを乗り越えたことで自分自身の成長につながったと思います。
- ・タイに海外進出している企業ならではの問題なども聞くことができ、新しい発見に驚くことが多かったです。様々な知見を得て、自分が今まで生きてきた世界はこんなにも小さかったのかと思わされました。知見が広がり、自分のキャリアの選択肢がもっと広がったように感じます。
- ・海外インターンシップでは主体性の重要性を学びました。主体性は実際にインターンを通して何かを行う時、誰かに指示されたから行うより、自ら意欲をもって行う方が、覚えが早く、主体性こそが他の社会人基礎力の向上を促進させ、会社の即戦力に繋がるのだと分かりました。
- ・初めての環境で緊張し、積極的に質問をすることが難しかった日もありましたが、緊張しながらも質問したことで、自分から行動することの大切さを学びました。この経験から、自ら積極的に動くことが、今後の学生生活や職業選択では重要だと感じました。
- ・将来、世界で活躍できるグローバルな人材になるために、今回、力不足だと感じたコミュニケーション力や英語力などを意識して学んでいこうと思った。今回の研修では、少しでも多くのことを学ぼうと主体的に活動していたが、今後の学生生活でも、高い意欲を持って主体的に学んでいこうと思う。

【取組の様子】

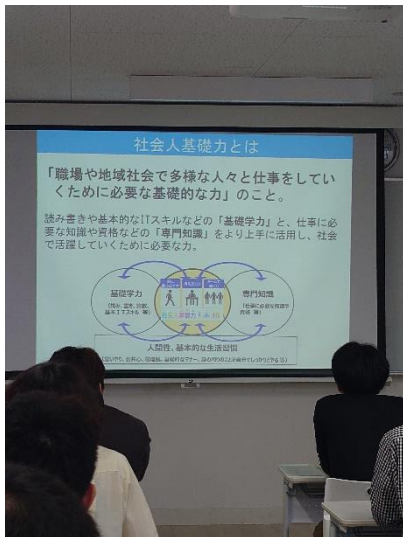
□事前研修



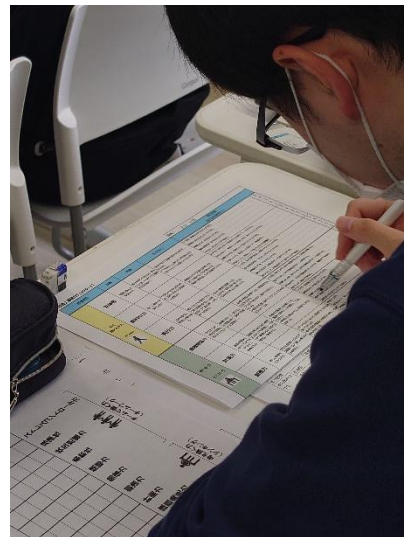
事前研修「ビジネスマナー」



事前研修「学園理事長激励」



事前研修「社会人基礎力について（事前点検）」



事前研修「海外生活における安全対策」



事前講習「学長激励」

□現地研修（企業）



現地研修「実務研修①」



現地研修「実務研修②」



現地研修「現地スタッフの方と①」



現地研修「現地スタッフの方と②」

□現地成果報告会



研修成果報告会

□事後研修



事後研修「社会人基礎力について（事後点検）」



学内研修成果報告会「学長挨拶」



学内研修成果報告会「企業別発表」



学内研修成果報告会「質疑応答・講評」

【まとめ】

海外インターンシップの実施にあたり、受入企業様には、参加学生にとって大変貴重な経験の場を設けていただいたことに改めて感謝申し上げます。現地研修期間は、就業時間はもとより終業後や休日に至るまで学生へご配慮をいただき、社会人として、また海外駐在員としての貴重なお話を通じて、学生の学びに大きく貢献していただいたもの推察しております。

参加学生に行った事後アンケートでは、すべての学生が「海外インターンシップを下級生に勧めたい」と回答しており、「自身の成長」や「視野の広がり」といった理由が挙げられ、研修の満足度の高さがうかがえる結果となりました。

引き続き次年度以降も、海外インターンシップの実施を計画し、将来のグローバルなキャリア形成の動機付けに努めて参ります。